

地元の「祭り」を知る

～村上・岩船地域の祭りについて～



地域の将来を担う中高生に向けて

出典：村上市観光協会

発行：新潟県村上地域振興局

冊子作成にあたって

当振興局では、毎年、地元の中高生の皆様を対象として、村上・岩船地域に対する理解を深めていただくための取組を行っております。

令和6年度は、歴史と文化が詰まった地域資源であり、かつ、子どもから大人まで年代を問わず、多くの方々が携わる「祭り」をテーマとして、地元のキーマンに対するインタビューと、次代を担う中高生も加わった座談会を行い、この度、冊子として取りまとめました。

この冊子が、手にされた皆様にとりまして、祭りの魅力や現状への理解を一層深め、祭りを次世代に継承するための課題を考える機会となり、また、中高生の今後の学生生活や卒業後の活動に役立つものになれば、とても嬉しく思います。

そして、地元の祭りが、これからも長く続いていくことを、心より願っております。

令和7年5月吉日

新潟県村上地域振興局地域振興グループ

CONTENTS

01 | 村上・岩船地域の「祭り」座談会 1

02 | INTERVIEW①村上大祭
渡邊 明さん（村上まつり保存会） 3

03 | INTERVIEW②瀬波大祭
佐藤陽さん（瀬波大祭 濱町若連中 世話方） 4

04 | INTERVIEW③岩船大祭
竹内 新一さん（岩船まつり保存会） 5

05 | INTERVIEW④村上七夕祭
伊與部 貴大さん（村上七夕祭実行委員会） 6

06 | INTERVIEW⑤ えちごせきかわ大したもん蛇まつり
須貝正春さん、三須真さん 7
(大したもん蛇まつり実行委員会)

07 | 村上・岩船地域の「祭り」 8

村上・岩船地域の「祭り」座談会

地元の「祭り」について考えよう 地元の祭り関係者×中高生

村上市の祭り関係者と学生たちが、普段の生活では分からない、祭りの魅力や課題について、話し合いました。



●祭りの醍醐味はどんなところ？

渡邊さん：時代が変わっても昔の人と同じようにやっており、歴史が継承されていることにロマンを感じる。外国人の方が参加するなど地域外の人との交流も魅力的です。

佐藤さん：普段全然違うことをしている人たちが祭りのために集まります。世代も仕事も違う人たちが、一つのことを一生懸命に取り組むことが祭りの醍醐味です。

伊與部さん：地域の人間たちが、学校の文化祭のように準備をして祭りを盛り上げることで、それぞれの祭りの色が出ます。

竹内さん：長い歴史の中でみんなが情熱を傾けてきたエッセンスが残っている。夢中になっている人の力、情熱が祭りの醍醐味です。地域のコミュニティを続けていくために欠かせないものです。

●祭りをどのように楽しんでいる？

学生：地元の祭りに参加していますが、そこでは屋台で煽り合いをしています。祭りはどこも同じことかと思っていましたが、村上の祭りはゆっくりと屋台を引いていたので祭りによって違いがあり面白いです。

佐藤さん：祭りでは、学年が違う子が下の子を世話したり、年齢に関係なく関わるので、学校や職場とは違ったコミュニティです。世代の違う人との関わりや祭りごとに文化や歴史が違うのも魅力ですね。

学生：瀬波大祭の行き会（屋台を止めて、同じ甚句を歌いあう）を楽しみにしています。これを通じて普段関われない人と仲良くなれるのが祭りの楽しみの一つです。祭りのおかげで自然と色んな人と話せるようになるのは楽しいです。

学生：七夕祭は若い人の役割が多く、若い人が楽しみやすい祭りだと感じました。練習した獅子舞や太鼓を披露するのは楽しいです。

■「祭り」関係者の皆様



村上まつり保存会 会長
渡邊 明さん



瀬波大祭 濱町若連中 世話方
佐藤 陽さん



岩船まつり保存会
竹内 新一さん



村上七夕祭実行委員会
伊與部 貴大さん

伊與部さん：学校では教えてくれないことが学べるのも祭りの楽しみの一つです。私が若いころはたくさん怒られ、たくさん泣いたけど、ルール、マナーが身に付き、周りに気を配れるようになりました。

●もっと参加したくなる祭りとは？

学生：村上の祭りは、駅から少し遠いため、道案内やわかりやすい誘導があると嬉しいです。おしゃぎり(*1)も村上駅の近くまで来てくれるとみんなが見やすいかもしれないです。

渡邊さん：村上市では除雪する場所がGPSでわかります。同じようにおしゃぎりにもGPSをつけて、どこにいるのか分かるようにすることを検討しています。おしゃぎりがどこいるか分かれば、みんなが参加しやすくなるかもしれません。

竹内さん：どの祭りも車の置き場所は大変ですね。村上大祭に行く時には岩船から歩いていきました(笑)。

佐藤さん：祭りの会場にアクセスしやすくなれば魅力的ですね。駐車場の確保はどのお祭りも抱えている大きな課題かもしれません。



●祭りを学ぶ機会はあるの？

学生：村上の祭りを教える授業などはあるんですか？

渡邊さん：村上小学校では、小学3年生を対象に総合学習としてミニ村上大祭を実施しています。12月の本番に向けて準備をして、村上大祭の歴史なども学んでいます。

竹内さん：学生は、総合学習の授業として、祭りのテーマを好む人が多いと思います。

学生：祭りの授業が増えると参加したい人が増えると思いました。

伊與部さん：村上七夕祭は授業で取り上げられていなかったの、町内の人から教えてもらって歴史などを勉強しました。

佐藤さん：祭りを学ぶ機会があるのは大事ですね。

●中高生に期待すること、今後に向けて

渡邊さん：昔に比べて、世の中にたくさん楽しみがあるけど、是非祭りに興味をもつ若者がたくさん出てほしいです！

佐藤さん：若い人が来ないと祭りは続かないので、若い人たちが楽しく参加できる祭りづくりを心掛けていきたいです。若い人たちの目線に立って、祭りの雰囲気づくりを進めたいと思います！

伊與部さん：七夕祭を知らない人が多いので、興味をもち、見てもらい、最終的には参加してもらいたいです。七夕祭を大好きになってもらうような環境づくり

は大人の役割。みなさんが来たら笑顔で迎え入れたいです！

竹内さん：祭りで色々な人と一緒に熱く盛り上がることで、自分の「殻」を破って積極的になれるたりと人間力が高まると思っています。祭りに参加することで、普段の学校では得られない力を付けてほしいと思います！

※本座談会は令和6年度に実施したものです。
※役職等は当時のものを掲載しています。



●こんな祭りがあったら行きたい！

学生：知っているキャラクターやアニメなどとコラボしていたら行きたくなると思います。

学生：キャラクターとコラボしていたら、祭りに参加しやすくなります。

佐藤さん：初めての人は縁もゆかりもないと参加するのは難しいと感じます。キャラクターとのコラボは伝統との兼ね合いですぐには難しいですが、今後多くの人に参加してもらうためのコンテンツとして大事になってくるかもしれません。

学生：以前、村上駅でVチューバーとコラボした顔ハメパネルがあって賑わっていました。村上も祭りの時に何かとコラボしてスタンプラリー等をすればたくさん人がくるかもしれません。キャラクターとコラボしたガチャガチャなどで祭りをアピールするのもいいですね。

■中高生の皆様



村上中等教育学校 学生



荒川高校 学生



村上第一中学校 学生



村上東中学校 学生



村上東中学校 学生

*1 塗り金箔を施された屋台山車

INTERVIEW ① 渡邊 明 さん



PROFILE

村上まつり保存会 会長

渡邊 明さん

村上市出身。

高校卒業後に上京し、20代でUターンした後、村上七夕祭実行委員会会長、村上大祭屋台運営委員会事務局員、西奈彌羽黒神社先太鼓の会事務局局長等を経て、現在は村上まつり保存会会長。

祭りに携わったきっかけ、現在の役割は？

祖父が祭り好きで、色々な話を聞く中で自然と参加するようになりました。幼少期の太鼓の見学から始めて小学生で笛を吹くようになりました。中高生になると屋台を前で引っ張る若い衆に憧れたのを覚えています。高校卒業後、東京に5年いて帰ってきた後、村上七夕祭実行委員会、村上大祭屋台運営委員会等で役員を経験しました。

今は、村上まつり保存会の会長として当日のマスコミ対応等もしています。

祭りは地域にとってどんなものですか？

一言でいえば、江戸時代初期から400年近く続いている地域の伝統行事です。町内で何か会議があった時は自然と祭りの話になるほど地域に根付いています。

地域のお年寄りの方々は、祭りの歴史、村上甚句の歌い方、楽器の演奏の仕方等に詳しいので、自然と若い人が祭りを知ることができる環境にあります。

初めて参加する人に注目してほしいことは？

他の祭りに負けないと思うのは、歴史あるおしゃぎりです。古いものだと1700年代前半の部材が未だに使われています。いつの部材なのか刻印されているから分かるんです。少なくとも県内ではここまで歴史ある屋台はないと思っています。

あと、子どもからお年寄りまで一体となって祭りを楽しむ姿にも注目してほしいです。

祭りを将来に繋げるための展望や課題は？

課題は担い手の確保です。少子高齢化でおしゃぎりの乗り子(*1)となる子どもだけではなく、大人の参加も少なくなってきています。

村上大祭は今は市街地で行っていますが、昔は市街地以外を含めた広いエリアが対象でした。これからは、祭りを維持するために今まで以上に地元以外の方に参加してもらうことが必要になります。そのためには、例えば、踊りの稽古をリモートで行って負担を減らすことも考えられます。祭りの参加者を増やす取組を検討していきます。

*本インタビューは令和6年度に実施したものです。

*役職等は当時のものを掲載しています。

祭りの一番の魅力・楽しみ方を教えてください

参加していて一番気持ちが高ぶるのは、夜7時に始まる「帰り屋台」の巡行です。おしゃぎりに明りを灯して巡行する様子は、その壮観さに感動して涙を流す人もいたほどです。

初めて参加する人には特に厳しい決まりはありませんが、一定の節度をもって参加してもらう等、最低限のルールを守ってもらえれば、おしゃぎりと一緒に引いて楽しむことができます。

中高生へのメッセージをお願いします！

祭りの意味は地域を守る神様への感謝です。自分たちが楽しむ姿を神様に見せて喜んでもらうことです。今の若い人たちには、祭りを楽しむ気持ちで気軽に参加してほしいと思います。

市街地以外で暮らす中高生も是非参加してください。関川村、粟島浦村、その他の地域みなさんも気軽に参加して楽しんでほしいです。



稚児行列 (*2)

(出典：村上市観光協会)

*1 おしゃぎりに乗って笛等で音色を奏でる中学生までの子どもたち。

*2 子どもの無病息災や成長を願いながら、鮮やかな衣装を身にまとい、化粧をした子どもたちが街中を練り歩く日本の伝統行事。

INTERVIEW ② 佐藤 陽 さん

祭りに携わったきっかけ、現在の役割は？

父親が瀬波大祭に参加していたので、小さい時から祭りに出ることは当たり前だと思って育ちました。

小学生ではおしゃぎりの乗り子として、中学生になると若連中(*1)として参加しました。今は瀬波大祭に参加する5町内の一つである瀬波浜町の若連中の世話役として、祭りに参加する若い人を支える活動をしています。



PROFILE

瀬波大祭 濱町若連中 世話方
佐藤 陽さん

村上で暮らし始めた小学生の時から瀬波大祭に参加。大学進学で県外に行っても祭りの時は帰省し、社会人になっても参加し続けている。

現在、瀬波大祭に参加する地元・瀬波浜町の若連中の世話役として祭りを支えている。

祭りは地域にとってどんなものですか？

自分たちが暮らす町の良さを再認識できて、地元のみなさんが世代を超えて団結できるのが祭りです。

世代を超えて交流する中で、例えば、学年が違う年下の子に何か教えたり、普段は関わるのが少ない年上の子や大人との接し方が自然と身に付くようになります。子どもから大人まで色んな世代の人と一緒に楽しみ・頑張る経験は、将来役に立つ経験ですし、地域コミュニティの力を強くすることにも繋がっていると思います。

初めて参加する人に注目してほしいことは？

瀬波大祭に参加する5町内のおしゃぎりは、飾り、彫り物、塗り物はそれぞれ個性があってすごく綺麗です。

乗り子が笛・鐘・太鼓で奏でるお囃子(*2)の音色、若連中が勇ましくテンポよく歌う瀬波甚句など、大人、子どもが一体でつくり上げる祭りの雰囲気にも注目してほしいです。

祭りの一番の魅力・楽しみ方を教えてください

本祭り(9月4日)の夜にある祭りのクライマックス「木遣り」が醍醐味です。5町内の屋台が瀬波浜町の坂の下の集まり、「ホーランエー」「ヤーイトナー」等の掛け声とともに歌う木遣り歌(*3)が最高潮に達した後、太鼓を打ち鳴らして、坂を一気に駆け上がります。歌、太鼓、熱気、提灯の明かり等が相まって、瀬波大祭の見どころの一つです。

祭りを将来に繋げるための展望や課題は？

歴史ある祭りを後世に残すために、多くの人に瀬波大祭のことを知ってもらい、参加者を確保することが課題です。地元以外の人からも「自分も瀬波大祭に参加したい」を思ってもらえる祭りにしていきたいです。

そのためには、若い人が楽しく参加できる雰囲気づくりを心掛けていきたいと思っています。

中高生へのメッセージをお願いします！

まずは、みなさんの地元にあるお祭りを誇りに思ってください。祭りというコミュニティに参加し、色んな人と関わることで、学校等では得られない様々な経験ができます。是非、祭りに参加して、そこで得た経験を自分の人生に活かしてほしいと思います。



とぎよ
渡御行列(*4)

(出典：村上市観光協会)

*本インタビューは令和6年度に実施したものです。

*役職等は当時のものを掲載しています。

*1 祭りを計画し運営する、10代から30~40歳代までの各町内の男子 *2 おしゃぎりの乗り子が笛等で奏でる音色のこと。

*3 重い木等を運ぶ時の作業唄から始まったとされる、地域の祭りで歌われる伝統的な歌。*4 瀬波大祭の屋台巡行のこと。瀬波大祭では、神霊が屋台に移されると、祭りの始まりを告げる先太鼓を先達に、渡御行列が始まる。

INTERVIEW ③ 竹内 新一 さん



PROFILE

岩船まつり保存会
竹内 新一さん

村上市出身。

岩船上町で生まれ育ち、子どもの頃から当たり前のように岩船大祭に参加してきた。

昨年まで岩船まつり保存会会長、現在は石船(いわふね)神社の氏子総代、岩船大祭運営委員会総務担当として祭りの運営を支えている。

祭りに携わったきっかけ、現在の役割は？

地元なので物心ついた時から岩船大祭に参加しています。大学進学で上京した後、20代前半で岩船に帰ってからは若連中として祭りに関わりました。

その後、岩船まつり保存会会長等を務め、現在は、岩船大祭のシンボルである石船神社の氏子総代(*1)や、祭りの総務担当として運営に関わっています。

祭りは地域にとってどんなものですか？

岩船大祭は地域のアイデンティティです。岩船の漁師町としての歴史文化は、岩船大祭に独自の熱気を生み出しています。

地域の人々の祭りへの想いも強く、みんなが年1回の祭りを心待ちにしています。岩船では、地元を離れた人でも「盆正月には帰らなくても、お祭りには帰って来る。」と言われています。それほど、岩船大祭は地元では特別な行事です。

初めて参加する人に注目してほしいことは？

絢爛華麗なおしゃぎりは勿論ですが、一番は、漁師町ならではの独自の熱気です。岩船大祭には他の祭りにあるような「甚句」がありません。町内それぞれの掛け声でおしゃぎりを引きまわすのも岩船大祭ならではのものです。

屋台巡行の時は、町内外関係なく参加者を自宅に招き入れて食事等を振る舞います。漁師町の熱気がありつつも、参加者を分け隔てなくもてなすアットホームな祭りでもあります。

祭りを将来に繋げるための展望や課題は？

少子高齢化で減っている担い手を確保することが課題です。特におしゃぎりの乗り子になってくれる小中学生が減っています。屋台巡行を華やかにする笛、鐘、太鼓の音色を奏でる子ども達が少なくなっていることは、祭りの運営に影響しています。

岩船大祭でおしゃぎりが登場して約250年(江戸時代中期)と言われます。これからも9町内で屋台巡行を続けるために若い人には是非参加してほしいと思っています。

*本インタビューは令和6年度に実施したものです。
*役職等は当時のものを掲載しています。

祭りの一番の魅力・楽しみ方を教えてください

岩船大祭の参加者を人間観察すると楽しいかもしれません。本祭り(10月19日)の朝、屋台巡行が出発する時は注目です。若連中が岩船大祭のシンボル「お船様」を担いで木遣り唄を歌って石船神社の階段を登る様子、おしゃぎりが走り出す時の若連中の大きな掛け声と子どもたちの元気なお囃子には多くの観客が集まります。

アットホームな祭りでもあるので、屋台巡行の途中の地域の人とのふれあいも魅力です。

中高生へのメッセージをお願いします！

人生で悩むことはたくさんあります。どちらにするか迷っても、結局失敗したり後悔したりします。大事なのは失敗しても諦めがつくくらいしっかり考えてチャレンジすることだと思います。

やるかやらないか迷うなら、良く考えた上でチャレンジしましょう！岩船大祭に是非参加してください！



岩船大祭の絢爛華麗な屋台
(出典：村上市観光協会)

*1 神社の区域で暮らす住民(氏子)を代表する人たち。岩船(石船神社)の氏子総代は、岩船大祭運営委員会の中核を担っている。

INTERVIEW ④ 伊與部 貴大さん

祭りに携わったきっかけ、現在の役割は？

2歳の時に祖父や父親と一緒に祭りで撮った写真が残っています。中学生になると獅子舞を踊り始めました。村上の祭りが好きだから東京からUターンして、最近では村上七夕祭実行委員会の会長を務めさせてもらいました。

七夕祭では広報に力を入れて、ポスターを作ったり、イヨボヤ会館で開催前の団結イベントをしたりしました。

祭りは地域にとってどんなものですか？

地域みんなが年齢、性別、職業に関係なく一丸となる年1回の大事な行事です。七夕祭のために帰ってきて、その時しか会えない仲間もいます。村上に生まれて良かったと思えるのは、地元の仲間と一緒に頑張ることができる七夕祭や村上大祭があるからです。

七夕祭では屋台巡行から獅子舞の踊りまで、若者中心で運営することで地域の活力にも繋がることを期待しています。



PROFILE

村上七夕祭実行委員会
伊與部 貴大さん

村上市出身。

高校卒業後、進学で上京し10年間東京で暮らした後にUターン。Uターンした理由は、村上のお祭り、そこで知り合った仲間が好きだから。令和4年度～5年度着町青年團の團長、令和6年度は七夕祭実行委員会の会長を務め、現在は実行委員会メンバーとして祭りを支えている。

初めて参加する人に注目してほしいことは？

若者中心で行う屋台巡行と獅子舞の踊りに注目してほしいです。伊勢神宮にゆかりがある「伊勢堂」、雪洞、短冊を付けた竹等を飾る屋台は色とりどりでとても綺麗です。屋台の飾り、獅子舞の踊り方は19町内でそれぞれ異なるので観客としても楽しめます。

若者中心でつくり上げる祭りの雰囲気にも注目してほしいです。

祭りを将来に繋げるための展望や課題は？

一番の課題は担い手の確保です。少子高齢化で参加者が減っています。進学・就職で地元を離れる人もいますが、祭りをきっかけに地元を誇りを持ち、「いつかは帰りたい」と思ってもらいたいです。祭りで若者の絆が強くなる＝これからの村上が強くなることに繋がります。祭りの伝統、祭りへの想い等を若者の目線で伝え、地元を誇りをもってもらうことが私たちの務めです。



七夕祭の獅子舞

(出典：村上七夕祭実行委員会)

祭りの一番の魅力・楽しみ方を教えてください

年齢、性別、職業が異なる仲間で一丸となって行うことが一番の魅力です。若者中心で運営するので人数は村上大祭より少なく、一人一人の力が必要不可欠です。どの町内も仲間を大切に一丸となり、かつ楽しみながら、最高の獅子舞と活気ある屋台巡行を見せるために頑張っています。

初めて参加する人には各町内の仲間が精一杯フォローしますし、何よりも楽しむ気持ちを大切にしています。

中高生へのメッセージをお願いします！

進学等で地元を離れる場合は、ぜひ地元以外の広い世界を自分の目で見てほしいです。

一方で、離れても地元への誇りは持ってほしいです。地元という帰る場所があることを忘れないでほしいです。そして、今は地元でしかできない経験をたくさんして、たくさんの仲間と過ごしてください。

祭りに参加したい人は、参加している友達に聞いてみてください。きっとみなさんウェルカムです。祭りの経験はその後の人生で活かすことができます。私も祭りで出会った仲間がいるから今があります。

※本インタビューは令和6年度に実施したものです。
※役職等は当時のものを掲載しています。

INTERVIEW ⑤ 須貝 正春さん 三須 真さん



PROFILE

大したもん蛇まつり実行委員会
旅館 山路

須貝 正春さん

関川村出身。

大したもん蛇まつりがスタートした
1988年から携わり、長年、大蛇
パレードを先頭で指揮するリーダー
として祭りを支えてきた。

現在はリーダーを退いて後進の育成
などで祭りを支えている。



PROFILE

大したもん蛇まつり実行委員会
副委員長

三須 真さん

関川村出身。

大したもん蛇まつり実行委員会 副委
員長。大蛇パレードの現リーダー。

全長82.8mの大蛇の担ぎ手約500
人が安全に無理なく巡業できるように
パレードを指揮する役割を担ってい
る。

祭りに携わったきっかけ、現在の役割は？

(須貝さん)

私たちが関川村で生きることを実感できる、こ
こにしかない祭りをつくる！という想いから、古
くから伝わる大蛇伝説に掛けて考案したのを覚え
ています。祭りの立ち上げから、大蛇の先頭を指
揮するリーダーを務め、今は裏方として将来のリ
ーダー育成に取り組んでいます。

(三須さん)

祭りが始まった当初は、高校卒業後でバンドに
熱中していました。大したもん蛇まつりは須貝さ
んからの誘いもあって、第8回から参加していま
す。須貝さんの指名で大蛇パレードのリーダーと
なり、大蛇の先頭で担ぎ手を指揮しています。

祭りは地域にとってどんなものですか？

村民一丸となって準備から大蛇パレードまで頑
張ることで、関川村で生きていることを実感でき
る大切な行事です。関川村は過去に大きな水害に
見舞われました。大したもん蛇まつりでみんなで
助け合って力を発揮することで、災害時の共助に
も繋がっていると思います。

初めて参加する人に注目してほしいことは？

ギネス認定された82.8mの大蛇の迫力は勿
論ですが、それをコントロールする村民の動きに
注目してほしいです。

長い大蛇は担ぎ手だけで動かすことはできませ
ん。先頭で指揮棒を振って全体をコントロールす
るリーダーとその指示を担ぎ手に上手に伝える村
民の連携は長年の経験で培ったものです。是非注
目してください。

祭りを将来に繋げるための展望や課題は？

この祭りを将来に繋げるためには、大蛇の担ぎ
手の確保のほか、祭り全体をまとめるリーダーの
育成が必要です。次のリーダーだけでなく、その
先のリーダーまで育てないと、いつか祭りは途絶
えてしまいます。

祭り全体を指揮するリ
ーダーになる若い人を育
てるのが私たち（地域
住民）の役割だと思っ
ています。



大蛇パレード

(出典：関川村観光協会)

祭りの一番の魅力・楽しみ方を教えてください

大したもん蛇まつりには村外の人も参加できます。村
民と一緒に大蛇を担ぐ体験は、初めて参加する方でも一
体感をもって楽しめます。大蛇パレードの8月下旬はまだ
暑いので、交代して担げるように運営側も配慮してい
ます。

終わってからは地域単位で打ち上げ会をして労をねぎ
らいます。打ち上げ会には村外の人も参加できます。是
非その日は村民になった気分楽しんでほしいです。

中高生へのメッセージをお願いします！

大したもん蛇まつりは、今ではみんなが知る一大行事
となりました。しかし、根っこの部分は、みんなと一緒に
何かを成し遂げる力を身に付ける人材育成の取組だと思
っています。そのために、私たちのような祭りに関わ
ってきた大人が、若い人たちに祭りの魅力を伝え、祭り
に関わる機会を提供できると良いです。

祭りに参加して得た経験、身に付けた力は、その後の
人生でも役に立つことでしょう。みなさん是非、地元の
祭り、そして大したもん蛇祭りに参加してください！

※本インタビューは令和6年度に実施したものです。
※役職等は当時のものを掲載しています。

村上・岩船地域の「祭り」



出典：村上市観光協会

●村上大祭（村上市市街地、毎年7月6日・7日開催）

村上三大まつりのひとつ。

約400年前（江戸時代初期）、村上藩主が西奈彌羽黒神社の社殿を造った時の遷宮祭（*1）がはじまりと言われる。19町内の豪華絢爛なおしゃぎりが市街地を巡行する様子は圧巻。国指定重要無形民俗文化財。令和7年12月にユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」に登録。新潟三大高市（*2）のひとつでもある。



出典：村上市観光協会

●瀬波大祭（村上市瀬波地区、毎年9月3日・4日開催）

村上三大まつりのひとつ。

約1200年（平安時代）の歴史をもつ西奈彌神社の祭り。1719年（江戸時代中期）の祭礼車道具箱が残っており、今から300年以上前から屋台があったと言われる。5町内のおしゃぎりが華やかに瀬波の町を巡業する。木遣り唄は勇壮でテンポが速く、漁師町の心意気を感じられる。



出典：村上市観光協会

●岩船大祭（村上市岩船地区、毎年10月18日・19日開催）

村上三大まつりのひとつ。

祭神が「石の船」に乗って訪れた伝説がある石船神社の祭りで、500年以上（室町時代から）の歴史があると言われる。9町内の絢爛華麗なおしゃぎりが岩船の町を巡業し、航海の安全、大漁等を祈願する、港町の勇壮な祭礼。新潟県指定無形民俗文化財。



出典：村上七夕祭実行委員会

●村上七夕祭（村上市市街地、毎年8月16日・17日開催）

睡魔を払う「ねぶり流し」、江戸時代に五節句（*3）の一つとして中国から伝わった「星祭り」、邪気を払って延命を願う「伊勢信仰」が結びつき、明治時代に今のかたちになったと言われる。主役は19町内の子どもたちと若者。見どころは、七夕屋台の巡行と、ご祝儀をいただいた家の前で踊る獅子舞。



出典：関川村観光協会

●えちごせきかわ大したもん蛇まつり（関川村、毎年8月下旬開催）

大蛇伝説が伝わる関川村で、村民として生きる喜びと自信をもち、過去の水害の教訓を継承するために、1988年から開催。54集落の村民が協力して作った大蛇（全長82.8m、重さ2t）を約500人で担いで村内を練り歩く。「竹とワラで作った世界一長い蛇」としてギネス認定。国の「NIPPON防災資産」認定。

*1 新しい神社にご神体を移すときの祭礼。 *2 新潟県の三大縁日とも言われ、村上大祭（村上市）のほか、蒲原まつり（新潟市）、柏崎えんま市（柏崎市）。 *3 1年の5つの節目で行う行事（3月3日：桃の節句、7月7日：七夕の節句）

INFORMATION

～今年の祭りに参加してみませんか？～

◆村上大祭の情報

☆祭りに参加したい方は、祭り対象地域のお知り合い、ご友人等にお問い合わせください！

- ・開催地 村上市街地一帯
- ・開催期間 毎年7月6日 宵祭り / 7月7日 本祭り
- ・アクセス【西奈彌羽黒神社】日本海東北自動車道「村上瀨波温泉IC」から車で約3分
JR羽越本線「村上駅」から徒歩で約20分



村上市観光協会HP

◆瀨波大祭の情報

☆祭りに参加したい方は、祭り対象地域のお知り合い、ご友人等にお問い合わせください！

- ・開催地 村上市・瀨波地区一帯
- ・開催期間 毎年9月3日 宵祭り / 9月4日 本祭り
- ・アクセス【西奈彌神社】日本海東北自動車道「村上瀨波温泉IC」から車で約10分
JR羽越本線「村上駅」から徒歩で約30分



村上市観光協会HP

◆岩船大祭の情報

☆祭りに参加したい方は、祭り対象地域のお知り合い、ご友人等にお問い合わせください！

- ・開催地 村上市・岩船地域一帯
- ・開催期間 毎年10月18日 宵祭り / 10月19日 本祭り
- ・アクセス【石船神社】日本海東北自動車道「神林岩船港IC」から車で約9分
JR羽越本線「村上駅」からバスで約20分（バス停「石船神社前」）



村上市観光協会HP

◆村上七夕祭の情報

☆祭りに参加したい方は、祭り対象地域のお知り合い、ご友人等にお問い合わせください！

- ・開催地 村上市街地一帯
- ・開催期間 毎年8月16日 / 8月17日
- ・アクセス 日本海東北自動車道「村上瀨波温泉IC」から車で約5分
JR羽越本線「村上駅」から徒歩で約20分



村上市観光協会HP

◆大したもん蛇まつりの情報

☆開催前に、関川村HP及び案内チラシから大蛇担ぎ手を募集します！！

- ・開催地 道の駅関川、高瀨温泉周辺
- ・開催期間 毎年8月下旬（前夜祭・本祭）※開催日程の詳細は年によって異なります。
- ・アクセス【道の駅関川】日本海東北自動車道「荒川胎内IC」から車で20分
JR米坂線「越後下関駅」から徒歩で10分



関川村観光協会HP

※令和4年豪雨災害の影響により、JR米坂線の坂町～今泉駅間は代行バスが運行されています。

※掲載情報は、令和8年3月時点のものです。最新の情報は、各ホームページ等でご確認ください。

◆【メンバー大募集！！】新潟県北イベントボランティア募集モデル事業

村上市、関川村、粟島浦村の地域行事にボランティアとして参加ができます！
地域の一員となって、地域行事を応援しましょう！

【ボランティア参加方法】

- ①メンバー登録（18歳未満は保護者の同意が必要です）②募集情報から参加申込
- ③地域関係者から活動内容を説明④ボランティア活動（地域行事への参加）



※詳細は事業HP
をご覧ください。

地元の「祭り」を知る

～村上・岩船地域の祭りについて～

発行：新潟県村上地域振興局 村上市田端町6-25

作成日：初回作成 令和7年5月

増刷（修正）令和8年3月

担当：地域振興グループ

TEL：0254-52-7230 FAX：0254-52-1316

Mail：ngt111210@pref.niigata.lg.jp



新潟県



村上地域振興局
HP



村上地域振興局
公式「X」